

平成18年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課 道路建設課
 実施機関 関都市道路整備局

【事業の概要】

事業の種類 道路の整備 一般国道、県道、街路
 事業箇所名 徳島県徳島市川内町
 事業の規模・状況 4.2 km 中規模事業 施工段階

【事業の目的及び概要】

徳島市中心部及び周辺部における幹線道路の交通渋滞緩和、また地域の活性化、利便性の向上等を目的とする外環状道路の一区間として事業を実施。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否

【特に配慮した環境要素と実施事項】

- ・大気環境（騒音・振動による生活環境の悪化）
 低騒音施工機械の使用、無振動工法（矢板の油圧圧入、コンクリート圧砕機等）の採用
- ・廃棄物・温室効果ガス等（建設副産物の発生）
 建設残土の有効利用、再生骨材等リサイクル資材の活用
- ・生物多様性（希少動植物の生息・生育地の保全）
 オニバスの保全、生態系調査によるその他希少種の確認

【目標に対する達成状況】

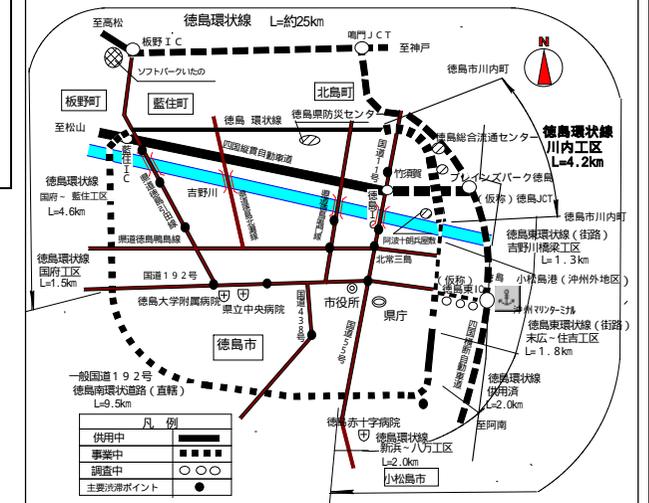
希少植物（オニバス）の種子の保全、生態系調査の実施、建設残土の有効利用、無振動工法による振動の抑制等を実施した。

【実施事項に対する評価】

実施者	今年度の実施事項について、目標は概ね達成できた。
主管課	引き続き確認作業を行い、レッドデータブック掲載種の保存に努める。
専門家	今後も調査に基づいて、対象となる種に応じた環境配慮対策を進めてもらいたい。

位置図・平面図等

位置図：1/25000



写真、図面等

